

平成28年7月3日  
今週のベストショット



青松園A 三苦フレンズ 対 ブルーマーリンズ戦  
2年ぶりの勝利を収めたブルーマーリンズ佐藤投手（左）横山捕手（中）と小柳監督（右）  
写真：奈多フェニックス 実延新伍

奈多グラウンド ライナーズの抜け目のない走塁が勝利を掴む！

雁ノ巣ライナーズ（3勝）103020 6 有馬○-山崎  
三苦三球会（1勝4敗）000300 3 吉留●、塚（達）-藤澤、山崎  
HR：明瀬（航）（雁ノ巣）3BH：右山（三球会）2BH：中口（雁ノ巣）  
盗塁：明瀬（旭）、宇野、池内（雁ノ巣）

いよいよ夏の暑さが厳しくなってきた7月最初の試合はいきなり初回のライナーズの攻撃から試合が動いた。先頭の明瀬（旭）選手が中前打で出塁し、すかさず盗塁を決める。続く明瀬（航）選手が投手強襲の安打を放つと相手選手の三塁への悪送球により先制点をあげる。すぐに反撃したかった三球会だったが二死後、塚（太）選手が四球で出塁して盗塁を試みるもスタートが早く離塁アウトで無得点。三回表ライナーズは先頭の池内選手が左前打で出塁し、WPや犠打で三塁へ進むと二番明瀬（航）選手が中前打を放つと中堅手がファンブルした隙に二塁へ進みチャンス継続。続く三番中口選手も中前打で続くと中堅手のバックホームの間に二塁を奪う好走塁。続く四番宇野選手も右前打を放ち追加点でこの回3点目。更に突き放す大チャンスに登場するのは昨期通算400安打を達成した和白リーグのレジェンド久保田選手だったが三振に倒れてしまい、続く国崎選手も倒れて攻撃終了。何とか反撃をしたい三球会は四回裏に先頭の途中出場の山崎選手が四球で出塁、続く塚（達）選手は中前打。一死後に四番右山選手が左中間を綺麗に破る三塁打を放ち、まずは二点を返す。更に敵失でもう一点追加し、この回三点を返し試合が緊迫してきた。点差を詰められ突き放したいライナーズはこの回から代わった塚（達）投手に対して一死から二番明瀬（航）選手が左中間を破る本塁打を放ち一点追加、続く三番中口選手も左線を破る二塁打に二死後に六番国崎選手は右前打で追加点した。最終回となる六回裏に三球会は先頭の右山選手が四球で出塁

し、続く浜口選手の中前打などで満塁のチャンスを作るも後続が倒れて無得点で試合終了となった。勝ったライナースはソツのない走塁で常に次の塁を狙ってチャンスを作り点を奪うスタイルはどのチームにもお手本となる見事な攻撃だった。敗れた三球会はチャンスが無かったわけではなく、あと一本が出なかった事が敗因となった。暑くなり試合終盤に熱中症の症状から脚をつってしまい交代した選手もいたので、それぞれ各選手がこまめな水分補給を徹底していきましょう。(記事：新町ウインズ 野中一史、写真：早田主大)



バッティング練習をするライナース池内親子。



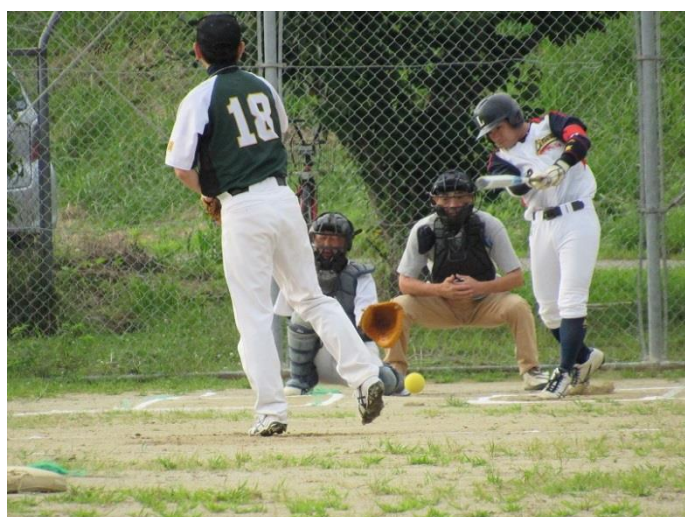
三球会による次期和白リーガー育成。



試合前風景 (三苦三球会)



試合前風景 (雁の巣ライナース)



雁の巣ライナース明瀬旭選手。



強打者宇野選手から三振を奪う三球会吉留投手。



盗塁をするライナーズ池内（史）選手。



四回裏、三塁打を放った三球会右山選手。



ライナー性の当たりを好捕した三球会渡辺二塁手。



四回表、本塁打を放った明瀬（航）選手。

### 青松園B ホーネッツ長打で圧勝！

三苦ホーネッツ（4勝1敗） 2 0 3 0 2 3 1 0 矢野○ー広木、松尾

ソルトベイスターズ（4敗） 1 2 0 0 0 0 3 酒井●、小山ー春田

HR：矢野、今田（三苦ホ） 3 BH：矢野（三苦ホ） 盗塁：広木、矢野（三苦ホ）

三苦ホーネッツ矢野投手とソルトベイスターズ酒井投手の両投手で試合は始まった。一回表ホーネッツが2点を先制したその裏ソルトは、三エラーで出塁した中村（健）選手を三塁に置き、WPで1点を返す。二回裏、真弓選手、酒井選手が安打で出塁し、続く田中選手の送りバントで無死二三塁。八番荒尾選手の中前タイムリーで同点。続く石井選手の二ゴロの間に逆転に成功するも得点はここまで。三回以降矢野投手に抑え込まれた。一方ホーネッツは、三回表に今田選手のHRなどで3点。五回表には矢野選手のHRで2点。六回表にも矢野選手の三塁打で3点を入れてソルトを突き放した。お互いに安打数は6本ながら、その内ホーネッツの長打が3本に対しソルトは全てが単打で、長打が明暗を分ける形になった。（記事・写真：奈多サンデーズ 田中俊弘）



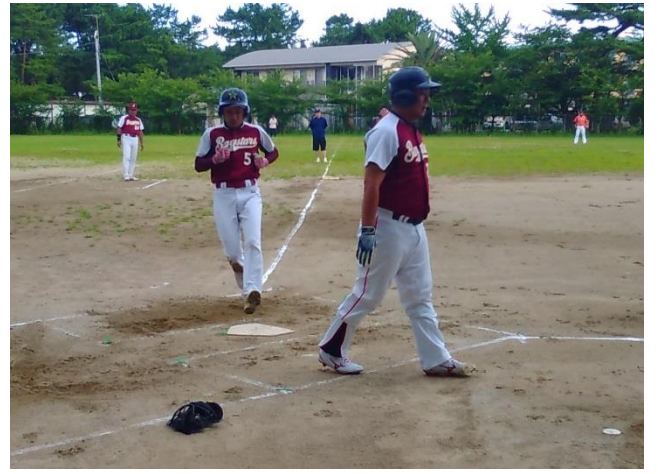
ホーネッツ矢野投手。



ソルトベイスターズ酒井投手。



一回裏、送りバントを決めるソルト八柄選手。



一回裏WPで生還するソルト中村（健）選手。



二回裏、送りバントを決めるソルト田中選手。



二回裏、チャンスでサードタッチアウト。



フライを裁くソルト春田捕手。



三回表、ホームランを打ったホーネッツ今田選手。



ストライク返球でタッチアウトのホーネッツ井手選手。



右中間にホームラン、ホーネッツ矢野選手。



豪快なバッティングのソルト三番小山選手。



五回表から登板のソルト小山選手。

### 雁レクA 奈多クラブ今林祐将選手、満塁弾炸裂！

三友クラブ（3勝1敗）000 00 0 足達●ー谷崎  
 奈多クラブ（3勝1分）041 0× 5 今林（瑠）○ー安河内  
 HR：今林（祐）（奈多ク）2BH：谷崎（三友ク）

梅雨が明けたかのような好天の中、奈多クラブ今林瑠生投手は1四球を与えるも、2三振を奪う上々のスタート。三友クラブの足達投手も先頭の今林祐将選手に右前安打を浴びるも後続を打ち取り、こちらもまずまずの立ち上がり。明暗が分かれたのは二回。三友クラブは先頭谷崎選手が二塁打を放ち、中島選手も四球で無死一二塁と絶好の先制機を迎えたが後続が打ち取られる。一方の奈多クラブは先頭打者こそ打ち取られたが、四球を足掛かりに二つの内野安打で満塁とすると、今林祐将選手が右中間へ満塁HR。球威十分の今林瑠生投手には十分な援護となったが、続く三回にも今林賢人選手のタイムリーで加点した奈多クラブが終始安定した試合運びで勝利を飾った。奈多クラブ監督の笑みがこぼれる会心のゲームとなった。（写真、記事：塩浜ジャガーズ 高嶺信彦）



試合前の両者固い握手。



奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



三友クラブエースの足達投手。



戦況を見守る三友クラブ90番の福山選手。



ガタイがデカイ奈多クラブの四、五番打者。



眼光鋭い奈多クラブ今林常光サードコーチ。



三友クラブ三番、柿崎選手。



二塁打を放った、三友クラブ谷崎選手。



二回裏、満塁本塁打！奈多クラブ一番今林祐将選手。



思わず顔がほころぶ奈多クラブ今林辰也監督。



投打の主役！今林琉生投手（左）と祐将選手（右）

## 青松園A ブルーマーリンス、糸井選手の劇的なサヨナラ打で2年ぶりの勝利!!!

三苦フレンズ (4敗) 00130 4 生野●ー佐藤

ブルーマーリンス (1勝2敗) 01202x 5 佐藤○ー横山

3BH: 糸井 (ブルー) 2BH: 畑田 (三苦フ) 佐藤 (ブルー)

一回表、三苦フレンズは先頭吉村雄成選手が四球後すかさず盗塁を試みるもブルーマーリンス横山捕手の見事な送球に阻まれた。続く二番太田選手が中前打を放つが後が続かず無得点。二回裏ブルーマーリンスは先頭が出塁後、犠打が併殺打となりこの回も得点することは難しいと思われた直後に、死球と安打で二死一二塁のチャンス。ここで相手WPでラッキーな形の1点を先制。ミスで1点を献上したフレンズは三回、相手の失策と進塁打の時、隙をつく好走塁を見せ一三塁のチャンスをつくる。一塁走者盗塁の間に三塁走者が本塁に返りすぐさま同点に。追加点が欲しいBマーリンスは三回裏、一死から一番井上選手が四球、二番末松選手がセフティーバントを決め、一塁走者が一気に三塁まで進むと、末松選手も盗塁で一死二三塁とすると犠飛と相手のまぜい守備で2点を追加し再び突き放す。リードされたフレンズは四球とこの日初めての長打で無死二三塁の大チャンス。ここで一番吉村選手がきっちり中前打を放ちその差を1点とする。なおも一三塁でBマーリンスバッテリーにミスが出る。パスボールの間に三塁走者が同点のホームを踏み、さらに一塁走者は一気に三塁を陥れ、続く二番太田選手の左前打で逆転に成功。しかし五回裏のBマーリンスの攻撃でドラマは起きた。先頭はフレンズ打線に対し、力投を続けてきた佐藤選手。力強く振りぬいた打球は右中間を突き破る二塁打。続く四番桑野選手の中前打で一気に生還し同点。五番横山選手は二飛に倒れ一死一塁でこの日無安打の六番糸井選手。迷いなく振り抜いた打球は左翼手の頭上を越えるサヨナラ三塁打となりゲームセット。取っては取られる好ゲームを制したのはBマーリンス。チームの若返りと諦めない姿勢で二年ぶりに勝利を収めた。(記事・写真: 奈多フェニックス 実延新伍)



気迫溢れる投球フォームのBマーリンス佐藤投手。



どんな場面も動じない三苦フレンズ生野投手。



ピンチを切り抜けベンチに戻る若いバッテリー。



必死に飛ぶがよけきれないフレンズ生野選手。



豪快なスイングをみせるBマーリンズ四番の桑野選手。



見事なスイングをみせる三苦フレンズ四番の篠原選手。



貴重なタイムリーを放つ三苦フレンズのベテラン畑田選手。



見事なサヨナラタイムリーを放ったBマーリンズ糸井選手。



## 第8週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第8週、7月3日は4試合が行われました。

奈多グラウンドの雁ノ巣ライナーズ対三苦三球会戦は、ライナーズ一・二番の明瀬兄弟が絡んだ得点の多さに目を引かれる。先制パンチ、中押し、ダメ押しに絡み、有馬投手を援護。最終回無死満塁のピンチも下位打線をしっかり押さえたライナーズが6-3で無傷の3連勝を飾った。明瀬航選手は3打数3安打1HR2打点1四球の活躍。



青松園Bの三苦ホーネッツ対ソルトベイズターズ戦は、二回裏に逆転を許したホーネッツだが、矢野投手自ら4打数4安打5打点1HR1盗塁の活躍で鮮やかに10-3と逆転勝利。ソルトも6安打を放ったが、力でねじ伏せられた。

雁レクAの三友クラブ対奈多クラブ戦は、二回表の無死一二塁のピンチを抑えた奈多クラブはその裏一番今林祐将選手のグランドスラムで一気に勝負を決めた。万遍なくどの打順からでも得点が取れる奈多クラブ打線は、5-0で開幕から3連勝の好調三友クラブを圧倒した。

青松園Aの三苦フレンズ対ブルーマーリンズ戦のどちらも未だ勝ち星の無いチーム同士の対戦は、撮っては撮られるシーソーゲームだったが、ブルーマーリンズ佐藤投手の力投と最後まであきらめないチームの盛り上がり、最終回の糸井選手のサヨナラ打を呼んだ。今年のブルーマーリンズは一味違うか？

7月に入り、雨と青空が交互にやってきて蒸し暑い日が続きますが、試合中のベストパフォーマンスのためにしっかりと睡眠、栄養、水分を取りましょう。